



一般社団法人 日本ヘリコバクター学会主導多施設共同研究

## 患者様へ

本院では下記の臨床研究を実施しております。

# ピロリ菌除菌症例の登録調査 — 全国除菌レジストリー —

ピロリ菌の除菌治療の後にも、胃がんが発生しないかどうかを調べるのが本研究の目的です。これにより、除菌後の胃がん発生率だけでなく、こういった間隔で内視鏡検査をするべきかを知ることができます。

- ✓ 本研究は通常診療で得られた情報の一部を提供する研究で、特別の治療を実施する研究ではありません。
- ✓ 改正個人情報保護法に準拠しており、個人を特定する情報が明らかにされることはありません。
- ✓ 参加された後に、いつでも辞退できますので、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合はお申し出ください。
- ✓ お申し出によって、以後の診療上、不利益を生じることは全くありません。
- ✓ 転出される場合には、ご希望があれば本研究に参加している、日本ヘリコバクター学会認定医、会員をご紹介します。

お問い合わせ先：

## 本院を受診された方へ

本院は、日本ヘリコバクター学会で行っている多施設共同研究「ヘリコバクター・ピロリ菌除菌症例の全国前向き調査—全国除菌レジストリー」(研究代表者：鈴木 秀和)に参加しております。

本研究の目的は、ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療後の胃がん発がん状況を調べることです。これにより、発がん率、リスク因子、最適な内視鏡検査施行の間隔などを明らかにすることが可能になります。

対象となる方は、40歳以上75歳未満で、ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療に成功した方です。研究期間は、2017年4月1日から3年間を登録期間とし、その後20年間、経過観察を行います。

除菌に成功すれば、胃がん発がんのリスクは低下します。しかし、全く胃がんにならないわけではありませんので、除菌治療後も内視鏡検査による経過観察は必要です。本研究では、この経過観察のための内視鏡検査の実施年月日、検査結果などの情報を使用させていただきます。

個人情報の取り扱いについては、氏名や住所など患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたしますので、第三者に特定されることはありません。プライバシーへの最大限の配慮を行った上で、研究成果は学会や学術雑誌などで公表される予定です。

本研究は日常診療の一環として行う臨床情報を調査する研究であり、情報等の使用について、直接説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

診療情報が本研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先にお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

練馬総合病院 外科 栗原直人

練馬総合病院 内科 松田英士

事務担当 阿部哲晴

病院電話 03-5988-2200